

結城友奈は勇者である×スーパーロボット大戦 鋼の章

ソメヤ タク

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

これは、勇者に選ばれた少女達と鋼の巨人ーいわゆるスーパーロボットが共に戦う物語。

少女達よ、鋼の魂で絶望に抗え!!

参戦作品

機動戦士Zガンダム

機動戦士ガンダムZ

機動戦士ガンダム逆襲のシャア

機動戦士ガンダム逆襲のシャアベルトーチカチルドレン

機動戦士ガンダムUC（小説版キャラ出演）

機動戦士クロスボーンガンダム

機動戦士クロスボーンガンダムスカルハート

機動戦士クロスボーンガンダム鋼鉄の七人

機動新世紀ガンダムX

機動戦士ガンダムAGE

劇場版 マジンガーZ / INFINITY

マジンカイザーSKL

真（チェンジ!!）ゲッターロボ 世界最後の日

勇者特急マイトガイン

アルドノア・ゼロ

フルメタル・パニック!

フルメタル・パニック? ふもっふ

フルメタル・パニック！The Second Raid
フルメタル・パニック！（原作小説版）

輪廻のラグランジェ

輪廻のラグランジェ2nd season

新規参戦作品

レガリア The Three Sacred Stars

フルメタル・パニック！ Invisible Victory

超ロボット生命体トランスフォーマー マイクロン伝説

勇者警察ジエイデッカー

SSSS・DYNAZENON

機動戦士ガンダム逆襲のシャアMSV

機動戦士ガンダムUCMSV

機動戦士ガンダムF90（ジョブジョンのみ出演、Nタイプなし）

機動戦士ガンダムF90 Atoz Project

機動戦士ガンダムシルエットフォーミュラー91（機体のみ）

機動戦士ガンダムAGE MEMORY OF EDEN

蒼き鋼のアルペジオ ―アルス・ノヴァ

劇場版 蒼き鋼のアルペジオ ―アルス・ノヴァ― DC

劇場版 蒼き鋼のアルペジオ ―アルス・ノヴァ― Cadenz

a

結城友奈は勇者である 鷲尾須美の章／勇者の章／大満開の章

目次

設定資料集

設定その1 公式年表

1

○○○○様の3分でわかる神世紀

5

登場人物&メカ紹介

8

始動編

第1話 時を超えた少年 その1

12

設定資料集

設定その1 公式年表

西暦2015年



2018年



2021年

第3次世界大戦勃発。

2024年

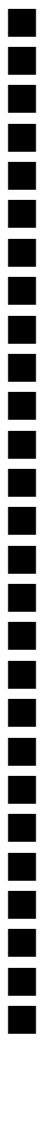
第3次世界大戦終結。

150年後

火星移住計画失敗。移住者の大半がマーズレイで死亡。生き残った者たちがそれぞれ独立国家ヴェイガン、ヴァース帝国を樹立

200年後

コロニー国家戦争勃発。銀の杯条約締結。



2297年

地球連邦政府樹立。

UC0001

元号を西暦から宇宙世紀に改暦。ラプラス事件勃発。サイアムビスト、ラプラスの箱を入手。

UC0033

天使の落日発生。この日よりUE（ヴェイガン）によるコロニー襲撃が始まる。地球連邦軍発足。

UC0040

コロニー「オーヴァン」がUEの襲撃を受ける。フリット・アスノ、ブルーザー大佐に引き取られる。連邦軍、モビルスーツガンダムの開

の1の人口が死亡。通称ヘブンスフォールが発生。世界各地で治安が悪化し、MSをはじめとしたロボット兵器による犯罪が急増。

UC0083

デラーズ紛争勃発。アセムアスノ、某宙域にて任務中にシドと遭遇、MIAとなる。ティターンズ結成

UC0084

リムガルドフォール発生。これによりリムガルド王国消滅。

UC0085

30バンチ事件発生。反地球連邦組織エウーゴが結成される。ユインシエル・アステリアがエナストリア皇国女皇に即位。

UC0086

Drヘルが機械獣を使い反乱を起こすも兜甲児が流竜馬・アムロ・レイと共にこれを阻止。流竜馬、最終決戦時に■■■■■。

UC0087

グリプス戦役勃発。ミケーネ帝国が地上へ侵攻するもグレートマジンガーの活躍により撃退。Zガンダムロールアウト。サナリイ設立。日本各地に埴輪型巨大怪物体が出現、襲撃するも数分後に消失。

UC0088

ペズン事件発生。第1次ネオジオン戦争勃発。ZZガンダムロールアウト。元ティターンズの隊員達に対する軍事法廷が開廷される。

UC0089

連邦軍、ロンドベル隊を編成。連邦海軍をはじめ世界各国の海軍が霧の艦隊に決戦を挑むも敗北。イ401、決戦に参加していた日本海上防衛軍に拿捕される。ガンダムF89ロールアウト。

UC0090

ガンダムF90ロールアウト。第1次オールズモビル戦役勃発。SRX計画始動。F70キャノンガンダムロールアウト

UC0091

ガンダムF90IIロールアウト

UC0092

スペースコロニームーンで連邦軍ロンドベル隊とネオジオ

ン軍残党が交戦。

第2次オールズモビル戦役勃発。ガンダムF91ロールアウト。旋風寺コンツェルン、勇者特急計画を起ち上げる。

ヒュツケバインMK-IIロールアウト。

UC0093

第2次ネオジオン戦争勃発。レガンダムロールアウト。アムロ・レイ、アクシズショックにより行方不明となる。旋風寺コンツェルン社長夫妻が新婚旅行中に起きた列車事故により死亡。ハルファイターロールアウト。

UC0094

バルマー戦役勃発。千早群像、イオナと出会う

■。鋼龍戦隊が編成される。クロスボーンガンダム、X1からX3までロールアウト。SRX完成。ヴェイガンとヴァース帝国が統合、火星皇国樹立。

UC0095

インスペクター紛争勃発。ユニコーンガンダム1号機から3号機までロールアウト。相良宗介が陣代高校に転入。コンパチブルカイザー完成。火星皇国、木星帝国と軍事同盟を締結。

○○○○様の3分でわかる神世紀

○○○○「時は西暦2015年。平和だった世界に空から突如神の使い、バーテックスが襲来。世界は瞬く間に蹂躪され人類も滅亡寸前に：DO☆K A A A A N!!」

○○○○「てな訳で始まつちまつた人類滅亡へのカウントダウン。2014年に放送された絵面と内容が真逆の鬱アニメ、いわゆるハートフルボッコアニメ結城友奈は勇者であるの解説だ。皆大好きだろこういうの?」

※後番組は同じ鬱アニメ、蒼穹のファフナーEXDUS
「人類滅亡を阻止する為勇者に選ばれ起ち上がった5人の小娘+α共」

※子孫がとても残念な初代勇者乃木若葉

※若葉ちゃん大好きストーリーカーの自称巫女上里ひなた

※どっからどうみても小学生の男の子土居球子

※ロリコン勇者伊予島杏

※根暗なゲーマー郡千景

※誰かのそっくりさん高島友奈

「そうそう、勇者つてのは神樹とかいうウドの唐変木から選ばれた純粹無垢な少女が変身して戦う存在。あ、ちなみに神樹の下には大社つー陰気臭い集団が勇者を管理している。ここ重要だぞ」

「しかあし!!世の中教科書通りにいかないのがお約束。バーテックスの強さの前に勇者達は次々と戦死。(戦死率はシユラク隊並み)このままじゃホントに人類が滅び兼ねないので巫女6人を生贄に捧げて休戦協定をアドバンス召喚あああん!!事実上の敗北宣言。大社は大赦に改名、神樹の言う事を効くしか脳がない神世紀が爆☆誕!!な?どっかで聞いた話だろ?」

「耐え難きをたえ、忍び難きを忍んだ神世紀298年。新たに3人の小学生が勇者に選ばれた」

※護国系少女鷺尾須美

※先祖が凄く偉い残念なお嬢様乃木園子

※私（死相が）すっごくついでるよ三ノ輪銀

「300年経っても力の差は歴然。一人脱落し（またねby三ノ輪銀）大赦は急遽勇者システムをパワーアップ」

須美&園子 「満開」 *映像は二期六話から

「というスゲエ力でバーテックスを撃退したのはいいものの肝心の2人が戦闘不能になってしまい大赦は身内から勇者候補生を探すものなり手がいない。じゃあ集めればいいじゃん？つてなノリでコイツが選ばれ!!（やつと第一期スタート）」

※元祖主人公結城友奈

「コイツが選ばれ!!」

※メガロポリス東郷美森

「コイツが!!」

※女子力大好きな中学生つばいおばさん犬吠埼風

「コイツが!!」

※歌と料理が下手クソ犬吠埼樹

「コイツが選ばれ!!」

※好物は煮干しとサプリのにぼっしー三好夏凜

友奈 「満開!!」 *にぼっしー以外全員

「して激しい死闘の末、人類は悲願であった打倒バーテックスを果たしたしかあし!!」

※ご褒美に海水浴とご馳走を堪能

園子 「やつと逢えたね。わっしー」 *1期8話から

「友奈と東郷は瀬戸大橋で変わり果てた姿の乃木園子とご対面、満開の恐るべき実態が告げられる。じゃんじゃじゃーん今明かされる衝撃の真実うううって奴だ!!」

「満開とは、絶大なパワーと引き換えに自分の体の一部を神への貢ぎ物にするシステム!!」

「乃木園子は2年前の戦いで20以上満開しており身体機能を殆ど喪失。もう一人の勇者、鷲尾須美Ⅱ東郷美森（実は鷲尾に養子で引き取られてました）も二回満開しており記憶喪失と車椅子生活は事故によるものではなかった!!おまけに四国の外も地獄と化しており大量の

バーテックスの下つ端星屑が徘徊しているという。そう、人類は神樹の結界の中で暮らしていたのだ！」

「この事を知ってしまった東郷は壁を破壊。ま、この事知ってしまったら誰でも気が狂うよな」

※この時部長は発狂

「なんと東郷は自分が空けた穴から大量の星屑を招き入れこの世界を滅ぼそうというのだ。」

「そんな中学生、修正してやる!!なノリでお友達を鉄拳制裁」*映像は1期最終回より

「このあとデカイバーテックスが火の玉を打ち込んできてたかが火の玉一つ、勇者の力で押し返してやる!!と頑張ったらあらまびつくり!!失われた体の機能が回復したじゃありませんかwバーテックスの侵攻もなくなり、5人の少女達は勇者の役目からも降ろされ元の日常生活に戻った」*友奈は意識不明だったけどしばらくしたら元に戻ったよヤツタネ☆

「さらに勇者部に乃木園子が加わり日常が賑やかに…」

※こんな事してる間に楠芽吹は勇者である連載開始

「えっ、俺?それは…って終わりかい!!?」

「結城友奈は勇者である×スーパードボット大戦鋼の章もうすぐ本編開始なんだなこれが!!」

登場人物&メカ紹介

高津英次

性別：男

年齢：13歳

生年月日：神世紀287年3月1日

出身：日本

所属：私立讃州中学校2年勇者部

本作の主人公。勇者部唯一の男子部員にして、大赦から友奈達の御目付け役として派遣された少年。(あくまで表向き)

一応大赦の人間であるが神樹への信仰心はない。

普段口数は少ない上素性も不明なところが多く、部員からは懐疑的に思われている。また、華奢なスタイルから部員やクラスの女子から羨ましそうな目で見られている。

勇者と大赦の実態を知り戦う事を決意。ロボット技術者である父、晋三と大赦が共同開発した対バーテックス用試作パーソナルトルーパー「ヴィランサス」のメインパイロットを務める。

高津晋三

性別：男

年齢：38歳

出身：日本

所属：高津ロボット技術開発研究所所長

英次の父親兼神世紀屈指のロボット技術者でありヴィランサスの開発責任者。

人望の良さから部下からの信頼が良く責任感が強い反面、軽い性格の持ち主でもある。大赦のやり方を良しとせず自分の意見をストレートに言う事から大赦から敵視されている。英次がヴィランサスのパイロットになる事は当初反対だった。英次同様出自は不明。ヴィランサスのコパイロットを担当。

リイナ・ブランセウス

性別：女

年齢：14歳

所属：地球連邦宇宙軍ロンドベル隊

階級：軍曹

出身：サイド4

本作の女主人公にあたるキャラクターで試作アーマードモジュー
ルサジタリウスのパイロット。

元々は連邦寄りのサイド4首長の娘であったがネオジオンのテロ
で両親を殺され自分自身も売国奴の娘として親ジオン派のサイド4
住民から迫害を受ける。

父親の部下に匿われていた所、彼の知り合いである武装グループサ
テリコンの幹部のスカウトを受け加入。

幼少期からプチモビルスーツの操縦を嗜んでおり、持ち前の操縦技
術で短期間のうちにサテリコンのモビルスーツパイロットとして活
躍する。

しかし、UC0091に組織は壊滅。救援に駆け付けたロンドベル
旗艦ラーカイラムに救助され以後、行動を共にする。その中で知り
合ったヒュッケバインMK-IIパイロットであり念動力者のレオン・
マクスウェルに恋心を抱くがシャアの反乱におけるアクシズ落とし
で発生したアクシズショックで彼がMIAになった事で深いショッ
クを受ける。この事が原因で以降両親の敵討ちとジオンへの復讐と
抹殺を誓うようになる。

モデルはソシヤゲ「ウチの姫様が一番カワイイ」のキャラクター、
リイナ・プリンセラ。

レイヴン・マグドネル

性別：男

年齢：26歳

本作のライバルキャラクター。謎の組織の幹部で英次達とヴィラ

ンサスに内蔵されたあるシステムを狙う。

ヴイランサス

種別：対バーテックス用試作パーソナルトルーパー

型式番号：PTX-300V1

開発：高津ロボット技術開発研究所

頭高長：18メートル

総重量：53トン

武装

60ミリ頭部バルカン砲×2門

ビームセイバー×2本

ビームショットライフル×1丁

ビームハンドガン×2丁

晋三と大赦が勇者システムに代わる戦闘システムの開発を目的としたV2計画に基づいて開発された人型機動兵器。近接戦闘を主眼に置いている。神樹から抽出した結晶を動力源としたアルラウネドライブを搭載し高い出力を誇る。本ジェネレーターを搭載したことによりどんな武器を装備していてもバーテックスを倒す事ができる。また背部に光波推進システムを内蔵したバインダーを装備しており大気圏内を飛行する事が可能。防御手段として防人の護盾のバリアを応用したビームシールドを装備し高い防御力を持っている。

これらとは別に本機はあるシステムを搭載している。

パイロットは基本操作を担当するメインパイロットの英次と索敵と指揮通信、機体ナビゲートを担当する晋三の2名で構成されている。

サジタリウス

種別：サブ・フライトシステム兼用試作アーマードモジュール

所属：地球連邦宇宙軍

型式番号：RAM-92X

開発：マオインダストリー

全長：約22メートル

汎用兵器であるモビルスーツは宇宙空間、重力下で高い戦闘力を有する反面、空中戦闘能力は限定的であった。その問題を解決するかのようにジオン公国軍は後にサブフライトシステム、通称SFSの先駆けとなる重爆撃機ドダYSを開発しそれにモビルスーツを乗せることで解決を図った。この点に注目した連邦軍は戦後ベースジャバーを開発しこの問題を解決する。グリプス戦役以降登場したSFSは連邦、ネオジオン両陣営で運用され多大な活躍を果たす反面、戦闘能力の欠如及び運用母艦のスペースを圧迫するという問題も抱えていた。この問題を解決するべく連邦軍は戦闘能力を有したSFS及び同等の兵器の開発を決定。その結果誕生したのがマオインダストリ社が試作開発した本機である。本機は動力源にテスラライヒ研究所で開発したテスラドライブを搭載。また人型機動兵器の積載能力を有しながらもモビルスーツをはじめとした機動兵器と互角に渡り合うほどの戦闘力を有する。本機はラーカイラムに配備、リィナ・ブランセウスの乗機として運用されている。本機の開発コンセプトは後に開発されるAMガンナーやRGZ-95リゼルへと引き継がれていく事となる。

始動編

第1話 時を超えた少年 その1

神世紀300年 香川県讃州市

市立讃州中学校

「讃州中学勇者部は、勇んで世のため人のためになることをする部活です。なるべくあきらめない、なせば大抵なんとかなるなどの精神でがんばっています。きょうも元気にしゅっぱーっ。」

と元気いっぱい語る少女は結城友奈。赤い髪に短いポニーテール、桜の花びらの髪飾りを身に着けているのが特徴だ。彼女は勇者部のムードメーカー的存在である。何やら文章を書いているようだ。

「小学生の作文かー！」

とツツコミを入れるのは三好夏凜。同じく勇者部のメンバー。茶色い髪の毛に短いツイントールをしている。

体力づくりの為にトレーニングと煮干しとサプリメントの摂取が日課だ。ちなみに身長は友奈よりも低い。

「中学生だよ」

「知ってるわよ」

二人の会話に一人の少年が割り込んでくる。

「何言ってるんだ三好。結城の明るい笑顔と元気な笑顔は俺達の力の源だぜ?」

彼の名前は高津英次。勇者部唯一の男子部員だ。一見大人しそう見た目だが人に話し掛けられると夢中になり我を忘れてしまう事がある。

「あんたが言うとおセクハラにしか聞こえないわよ英次」

夏凜は友奈が英次に警告する。まるで自分の大切な娘を何処ぞの馬の骨に渡したくない父親のように。大赦から派遣されてきたある彼女は当初、部員たちに対し冷たい態度を取っていたが友奈達の努力の甲斐もあって次第に心を開き打ち解けていくようになる。

「げっ！俺は褒めてるんだぞ?」

「さすが英次君えらいえらい」

「褒めてくれてありがとよ」

(そう、この明るささえあれば俺の世界は救われるはずだ)

「はい二人とも痴話喧嘩はその辺にしなさい。友奈、タウン誌で勇者部の活動を紹介してもらうんだから、いいキャッチコピーを考えなさいよね」

と栗色の長髪のおさげをぶら下げた少女が口を挟む。彼女の名は犬吠埼風。中学3年生で勇者部の部長であり母親がいない英次にとっては母親代わりの存在だ。一言目には女子力とうるさい上に妹を溺愛してる。

「はい」

どうやら友奈は風にタウン誌に掲載する勇者部のキャッチコピーを書いていろいろだ。

「お姉ちゃん。幼稚園からお礼のメールがたくさん来たよ」

そう風に告げたのは風の妹であり1年生の犬吠埼樹。背は低く内気だがタロット占いが得意でよく当たると評判がいい。

「この前の劇がバカ受けだったからねえ」

「親御さんは困惑してたからね…」

「お待たせ」。もう始まつてる？掃除当番の途中で寝てしまったんよ」。

そこへ英次のクラスメイトの乃木園子が入ってくる。彼女は大赦の中でももつとも権限が強い乃木家の令嬢である。容姿端麗、成績超優秀…と言いたいのが普段からボーっとしており同じ勇者部部員や友人を変なニツクネームで読んだり斜め上の性格と発想で周囲を引っ掻き回したりと色々と残念なところが多い。所謂残念お嬢様だ。

「園子…。そんな時に寝るのはあなたくらいよね」

呆れる夏凜。

「わーい褒められたー」。

「よかったね園ちゃん！夏凜ちゃんは中々人を褒めないんだよ。」

「わーいわーい」

「褒めてないわよ!!」

子供のようにはしゃぐ友奈と園子に対し夏凜はさらに駄目だしする。

「にぼっしー!!」

「関係ないでしょう!!」

と、夏凜は園子からにぼっしーと呼ばれてる。だが本人は快く思っていない。

「三好。乃木は2年間寝たきりだったんだ。大目に見てやれよ。」

「英次、あんた園子を甘やかしてない?そんなんじや将来やってけないわよ?」

「だからと言って、厳しすぎても駄目だぜ?それじゃ圧力でつぶされて人間駄目になる。お前が乃木と同じ境遇にあつたらどうするよ?」

「…その時になってみないと…わからないわよ。」

「だよな。でも、お前なら大丈夫だ。お前は心が強い子だからな。」

「そうね。でも覚えておきなさい。厳しい世の中を生きていくには強さと忍耐力が必要だって。」

「ああ。」

(でなきや、死ぬからな…。)

「さてと。勇者部12月の部会、始めるわよー。」

「」「おー!!」「」

「はい!」

勇者部。友奈曰く人の為になる事を自ら進んでやる讚州中学校家庭科準備室を拠点に構えるボランティア活動を目的とした部活動である。街中のゴミ掃除をはじめ、他の部活動の助っ人や学校外での演劇、商業施設や地元自治体のイベントの手伝い等多岐に渡る。部員一人々々の人柄の良さや親切心もあってか学校内や一般市民からの評判を大変良い。1年前に犬吠埼風が中心となって設立し今年は樹と園子が入部して人手も足りている。

だがそれは表向きであり実態はこの世界、神世紀世界を構成してる地の神の集合体、神樹を崇拝している大赦と呼ばれる組織が人類の敵、バーテックスに対抗出来る唯一の存在である勇者に選ばれた中学生の少女達を意図的に集め戦わせるのが真の目的だ。勇者とは年端

のいかない少女が神樹の力を借りてバーテックスと戦う。全国に勇者候補生がおりその中から神樹に選ばれた少女は勇者となりバーテックスと戦う使命を背負う。悲惨な運命が待ち受けている事も知らずに…。

(そう、皆はそうやって賑やかにしてるのが一番だ。あんな地獄は似合わない。そうだよな? 銀)

(それにしても、違和感のある写真だよなあ。)

英次は家庭科準備室に掲げられたボードに張られた写真を見て心の中で呟く。文化祭の出し物の劇の終了後に取った記念写真だ。友奈と夏凜の間に不自然な程人ひとり分の間が空いている。他にも全員で旅行に出かけた時を初め、あらゆる写真が同じような写り方をしているのだ。まるで誰か居たかのように。

「というわけで今週日曜は幼稚園で劇をやるって事で各自よろしく。」

風は部員たちにそう伝える。今週日曜日にお馴染みの幼稚園で勇者と魔王の物語をやるのだ。

「私も木の役でがんばるんよー。」

と言って張り切る園子。

「英次は欠席でいいのよね?」

風が英次に訪ねる。

「すいません。家の用事で忙しくてね。この埋め合わせは必ずします。それじゃ、失礼します。」

そう言つて英次は部室から退室していく。

「そーいや英次君のお家つて…。」

「学校から自転車で30分の所にあるって言っていましたよね?」

「確かお父さんがロボット関係の技術者だったはずよ。私もこれ以上の事は何も。」

友奈と樹の問いかけに対し夏凜が答える。

「ま、それは追々本人から聞き出すとして。新しい依頼よ。これを調べてほしいって。」

「空飛ぶ人間?」

「海岸で写真撮ってた人がたまたま見つけたらしくてね。」

「もしかしてUMA?」

風が説明すると友奈が訪ねる。そこへ園子が割り込みパソコンのデスクトップ画面を覗き込む。画面には小さいが空を人間らしき物体が飛んでいる姿が写っているのだ。

「どれどれ? 私にも見せー!!」

(ゲツ、バレてる!!?)

「どうしたの園子?」

顔を真っ青にし、驚いた園子に夏凜が問いかける。

「私も用意を思い出したんで失礼するんよー!!」

そう告げると血相を変えて慌てて部室から退出する。

「行っちゃった…」

「怪しいわね乃木。英次も最近よそよそしいけど。」

園子が去って行く光景を見て樹が呟くと風が喋る。

「そういえば夏凜ちゃんのお兄さんって大赦で働いてるんだっけ? 何か知らない?」

「兄貴は何も言ってこないわよ。ただ、防人やってるあたしの知り合いがV2計画っていうのを耳にしたこと位よ。」

夏凜には兄がおり大赦で神官として勤務している。

「V2計画?」

ここで友奈が夏凜から聞きなれない言葉を耳にする。因みに防人とは勇者システムの量産型であり少女ならだれでも使えるのが特徴だ。ただし戦闘力は勇者より低くバーテツツクスの尖兵である星屑を倒せるのが精一杯だ。

「さあ?それがわからなければ苦労しないわよ。」

讚州市郊外

山の中に存在する広大な敷地に複数の未来的な倉庫と事務所。ここが英次の家だ

正門の警衛所で入門の手続きを済ませると警備員に挨拶して自転車を大きな倉庫に向かって漕ぎ出す。

倉庫の入り口前に自転車を止め降りると扉を開け、中へ入ると背の高い中年の男に声をかける。

「父さんただいまー！」

「帰ったか英次。」

英次が挨拶をしたこの男こそ英次の父親、高津晋三。この施設、高津ロボット工学研究所の所長を務めている。彼自身も優秀な技術者だ。

「今日のメニューは？」

「いつも通り、筋トレの後はMSバトルシミュレーターで遊んどけ。難易度MAXでな。」

「…マジ？」

「出来なかつたら実戦で戦死することになる。戦場では状況は選べないぞ。」

「だな。アムロ・レイやアスノ家だってそうして来たからな。」

「まあまあ晋三さん。ご子息に無理させるのはよくないですよ。」

2人が会話してる処に割り込んでくる3組の中年夫婦と2人の少年に英次が声を掛ける。

「つて鷲尾のおじさん達！それに鉄男君も！」

「英次兄ちゃん！こんにちは。今日も訓練？」

彼らは鷲尾、乃木、三ノ輪家の当主とその婦人。そして二人の少年は三ノ輪鉄男と弟の金太郎。金太郎は2年前に生まれ今年で0歳になる。鉄男にはかつて銀という姉がおり、乃木園子と共に勇者のお役目に就いていたが2年前に死亡している。葬儀は大赦の元、盛大に執り行われたが葬儀に参列した大赦の神官の大人達は悲しみに暮れる処か英霊になって羨ましいだの三ノ輪家は大赦から法外な援助を受けられて誇らしいと、身勝手な事を言ってきた。耐えかねた鉄男は葬儀中叫んだ。しかし、鉄男の叫びは大人達の心に届く事はなく空しく響くだけだった。英次も当時、大赦に技術提供していた晋三に連れられ出席していたが何の泣くどころか無表情だった大人たちに怒りを覚えた。それは晋三も同じだった。その後鷲尾、乃木、三ノ輪家の当主が晋三のもとを訪れ勇者システムに代わる対バーテックス用兵器

の開発を持ち掛けた。ここでは晋三の指揮の元、それを開発している。

「そう。戦う為のな。」

「姉ちゃん、天国で見守ってくれてるかな？」

「きつと応援してると思うぜ？」

そう話す英二のもとに宮司の装束を着た一人の青年が話しかけてくる。

「英次君も大変だね。出来れば変わってやりたいよ。」

この青年は三好春信。夏凜の兄である。歪な組織である大赦では数少ない良心的な人間だ。

「違いますよ春信さん。俺がやるって決めたことですから。でも支援してくれたのは——」

「英へひで〜くーん!!」

「噂をすれば。」

英次と晋造、春信が話してる所に乃木園子が大慌てで駆け寄ってくる。

「大変大変!! ヴィーちゃんが飛んできるところ見られてる。勇者部のサイトに写真が上がってるのみの。取られたのは偶然だけど。」

「何ッ!!」

「この件が大赦に知れ渡ったら大変です。上層部には皆さんを快く思わない者たちが大勢います。大赦が本気を出せばこの計画、V2計画どころかこの研究所自体が潰されかねません。」

大赦は神樹を奉っている関係上権限は政府、ひいては内閣総理大臣——引いては政府を遙かに凌ぐ。大赦が総理大臣を国の指導者としてふさわしくないと判断すれば直ぐに交代させられるし、大赦に楯突く者がいれば社会的に潰すこともできる。

「春信君、本部に戻って大赦の動向を探ってくれ。少しでも動きがあったら報告しろ。」

「わかりました。」

春信は2〜3人の神官を連れて急いで研究所を後にする。

「おじさん達も大変だね」

「だが計画がここまで軌道に乗ったのは園子ちゃんのおかげだよ。」

「そう。ミノさんが死んで、私も満開して体が動かなくなった。そして勇者部の皆も悲しい思いをして…。」

「そうならない為にもこれを作った。」

英次が続けて言うとお上を見上げる。目の前には晋三が開発してるそれがある。

そこには大きさが18メートルもある白で彩られた鋼鉄の巨人が佇んでいる。

「いつ見てもカッコいいロボットだね。」

「だろ？こいつはバーテックスと戦うために作ったマシンだからな。対バーテックス用試作パーソナルトルーパーPT-300X1。名前はヴィランサス。」

ヴィランサスと呼ばれる白い巨人。勇者服を纏ったその白い巨人は晋三が開発した近接戦闘、空中戦を念頭に置いて開発されたパーソナルトルーパーに分類される対バーテックス用人型機動兵器。空中での飛行を可能とする背中から生えた長く伸びたバインダー。胸部ダクトを初め方や前腕部、脚部に露出したスリット上のようなもの。ヴィランサスの操縦は基本操作を担当するメインパイロットと機体のナビゲートから敵の索敵、戦闘指揮や通信を担当するナビゲーターの2名で構成される。

「そして俺がメインパイロットで父さんがサブパイロット。こいつはこの世界の救世主だ。」

「ヴィランサスがバーテックスと戦えるようになったのは鷲尾さん達が持ち込んだ神樹の力を生成、結晶化した物を組み込んだアラウネドライブのおかげだ。しかも使い手を選ばない。こいつのテストが完了と神樹の結晶を生産の目的が付き次第、量産に移る。そして全国からパイロット志願者を集め勇者に代わる戦闘部隊を編成する。」

「二見バカな事だと承知しているが園子が味わった悲劇を他の娘達に味遭わせたくない。だから貴方方に協力を申し出た。」

「そう、これは私達にとって最後の希望」

英次は心の中で誓った。皆が再び勇者になり絶望するくらいなら

自分が戦うと。戦って死んだ三ノ輪銀の悲劇を繰り返さない為にも。残された者たちが悲しまない為にも。この先どんな困難が待ち受けているかわからない。それでも戦うと決めたあの日から。あの日、自分と自分の街を救ってくれた救世主のように。時に神世紀300年、この物語は一人の少年、高津英次から始まる。

「日曜日、もう終わっちゃったね。」

夕方、友奈と夏凜は帰路に就いていた。今日はソフトボール部の依頼で練習試合の助っ人を頼まれていた。

「明日から学校か。憂鬱よね。ところで友奈宿題終わった？あたしは終わったわよ。」

「えっ!?夏凜ちゃん凄い!あたしなんてまだだよ。」

「あんたねえ…、ところで友奈。英次の事どう思ってる訳？」

「どうって?うーん英次くんかあ。英次君何故かあたし達に積極的に関わろうとしないんだよね。でもいざって時にはあたし達を支えてくれるし頼りになるよ?もしかして夏凜ちゃん英次の事好きなの?」
「//////ババババ馬鹿言ってるんじゃないわよ!!ただ心配なだけよ。あいつ、自分の事あまり話さないじゃない。昔の事とか。」

「確かに。あたしも感じるんだ。英次君、あたし達とは違う気がするんだ。いつも遠くを見ていて。自分だけ別の場所にいる気がするの。」

「あたしと同じね。英次の奴、あたし達に隠し事をしてる気がするのよね。一人で背負い込んで。このままだと消えちやいそうで…。心配なのよ。」

「だったらあたし達で引き留めようよ。例えばどっか行っちゃっても引き留めよう?離れちゃっても追いかけてよう!!」

「あんたらしいわね。」

「映画も劇もバッドエンドよりもハッピーエンドがいいでしょ?それに、V2計画だっけと凄いなと思うよ?」

「・・・そうね。」

(ここ最近の英次の顔はいつになく真剣だった。もしかしてあいつ、

V2計画に関係してる？英次、あんた何しようとしているの？」

「ん？」

友奈は車椅子に乗った少女とそれを押す母親らしき女性とすれ違った瞬間、ふと違和感を覚える。

(何だろう？何か大切なことを忘れてるような。)

「テストお疲れ。」

「疲れたと言いたいところだけど、1時間休めばまだまだいけるよ。」
「いや休め。いざつて時に動けないんじゃないやこつちも困る。それにあの一件依頼、大赦の動向を気にせざるを得なくなった。これからは慎重に行かなければな。」

英次はヴィランサスのコクピットから降りると整備員に告げるが晋三に制止される。

「しかし小ー、所長。それではヴィランサスの実戦配備が遅れます。」

「スケジュールは調整するさ。それに・・・。」

「皆さーん。夕飯の用意が出来ましたよー」

二人の会話を遮るように鷺尾家の婦人と使用人の女性数名が夕飯の支度が出来たと告げる。

「な？」

「はあ。」

「英次、晩飯だぞー！」

「はーい。っと。」

英次は晋造にそう言われるとヴィランサスのコクピットから降り今着ているパイロットスーツから私服に着換えるべく更衣室へ向かう。

「おっ、和食か？」

「ちゃんと肉まであるぞー！」

「わざわざすいませんね鷺尾さん。お越しいただくばかりか食事まで用意していただいて。」

「この計画を提案したのは私達です。これくらいの事はさせてください。」

「デザートに羊羹とぼた餅もありますよ。」

「つてデザートまで和食かい。いい加減ステーキやケーキが恋しくなってきたぜ。」

「ぼやくなぼやくな。こっちの世界が俺達に都合良くしてくれるわけないだろう？でも、なんで和食なんです？」

長身の整備員の男が愚痴るが隣にいた体格のいい同僚が口を挟んでくる。

「私にもわからないんです。なぜこうなってしまうのか？」

「私達には子供がいません。もし子供がいたらハンバーグ作れと駄々こねるでしょうね。」

「・・・。」

「どうした英次。食べないのか？」

「和食を見て思い出したんだ。最近違和感を感じるんだよな。」

「違和感？」

「部屋にある写真には人一人分のスペースがあるし、何か・・・というか誰か忘れてる気がするんだよな。」

「ま、そのうち思い出すだろ。」

「ん？」

「人間は忘れていた記憶を些細な事でフラッシュバックのように思い出す事がある。お前もそのうち思い出すさ。だが今は飯を食って休む事に集中しろ。これ以上大赦の連中を敵に回して計画を潰されたくはないからな。」

「うん。」

(俺の記憶を忘れさせているものの正体。お前は何者なんだ?)

英次は晋三に言われながら食事をしながら心の中で呟く。違和感を感じながら。

瀬戸大橋跡地

「ミノさんやっと来られたよ。元気にしてた？」

乃木園子は英霊の碑に訪れていた。三ノ輪銀の墓参りをするためだ。視線の先には崩壊した瀬戸大橋がある。1988年に完成し、本州と四国を道路と鉄道で結ぶ橋として機能していたがバーテックス

の侵攻により四国以外は滅亡し今は機能していない。さらにそれに追い打ちをかけるかのように2年前の大災害により橋は崩壊、かつての面影は留めておらず無残な姿を晒しているにすぎず、今園子がいる場所は先祖である乃木若葉をはじめとした歴代勇者達を奉っている。「イネスのしょうゆ味豆ジエラートのお店、別のお店になってたよ。ホント、時の流れは残酷だよね。」

園子は墓前に花束を供える。

「私、讃州中学の勇者部に入ったんだ。私たちのチームに負けずパワフルなんだよ。」

「それともう一つ話したい事があるんだ。ひで君のお父さんがバーテックスと戦う為の凄いロボットを作ってるんだ。ヒュツケバインって言うロボットを改造したんだって。」

「あ、そうそう。これ焼きそば。ミノさんが教えた通りに作ったんだよ。よかったら食べてね。でこれが私の分、そしてこれがわっしーの分。・・・えっ、わっしー？誰だろわっしーって？」

「あたしたち、ズツ友だよな？須美、園子」

（あたし乃木園子。もう一人は三ノ輪銀。通称ミノさん。そしてあなたは鷺尾須美。あたしたちはずっと友達だよ。）

「全部思い出したよ。ねえ、何で消えちゃうの？もう離れないって約束したじゃない・・・。」

園子は忘れていた記憶を思い出す。自分にとって銀と同じく大切な少女。鷺尾須美と呼ぶ少女を